別表第８ 　　水道メーター型式別使用流量基準表

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 口径 （ｍｍ） | Ｑ₃ |  Ｑ₃／Ｑ₁（Ｒ） | 適正使用流量範囲（㎥／ｈ） | 一時的使用の許容流量（㎥／ｈ） | １日当たりの使用量（㎥／日） | 月間使用量(㎥／月) |
| 10分／日以内の場合 | １時間／日以内の場合 | １日使用時間の合計が５時間の場合 | １日使用時間の合計が10時間の場合 | １日24時間使用の場合 |
| 接線流羽根車式 |
| 13 | 2.5 | 100　　 | 0.1～1.0 | 2.5 | 1.5 | 4.5 | 7 | 12 | 100 |
| 20 | ４ | 0.2～1.6 | 4.0 | 2.5 | 7 | 12 | 20 | 170 |
| 25 | 6.3 | 0.23～2.5 | 6.3 | 4.0 | 11 | 18 | 30 | 260 |
| 30 | 10 | 0.4～4.0 | 10.0 | 6.0 | 18 | 30 | 50 | 420 |
| たて型ウォルトマン(たて型軸流羽根車式) |
| 40Ｂ | 16 | 100 | 0.4～6.5 | 16.0 | 9.0 | 28 | 44 | 80 | 700 |
| 50 | 40 | 1.25～17.0 | 50.0 | 30.0 | 87 | 140 | 250 | 2,600 |
| 75 | 63 | 2.5～27.5 | 78.0 | 47.0 | 138 | 218 | 390 | 4,100 |
| 100 | 100 | 4.0～44.0 | 125.0 | 74.5 | 218 | 345 | 620 | 6,600 |

１　Ｑ₃とは定格最大流量を示す。メーターが定格動作条件下において、検定公差内で作動することが要求される最大の流量である。

２　ＲとはＱ₃／Ｑ₁を示し、計量範囲である。

３　Ｑ₁とは定格最小流量を示す。メーターが定格動作条件下において、検査公差内で作動することが要求される最小の流量である。

４　適正使用流量範囲とは、水道のメーターの性能を長期的に安定した状態で使用することのできる標準的な流量をいう。

５　一時的使用の許容流量とは、短時間使用する場合の許容流量である。受水槽方式や、直結給水で同時に複数の水栓が使用される場合、特に短時間で大流量の水を使用する場合の許容流量をいう。

６　１日当たりの使用量は、一般的な使用状況から適正使用流量範囲内での流量変動を考慮したものである。

・１日使用時間の合計が５時間の場合……一般住宅の標準的な使用時間。

・１日使用時間の合計が10時間の場合……会社（工場）等の標準的な使用時間。

・１日24時間の使用の場合……病院等昼夜稼働の事業所の使用時間。